

# 調布保谷線(三鷹武蔵野区間)環境施設帯検討協議会

## 調布保谷線だより

第 4 号  
平成22年9月

発行 東京都北多摩南部建設事務所 ☎042-330-1861  
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

皆様には、日頃から東京都の道路行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。  
東京都では、地域の皆様と検討を進めている内容を広く市民の皆様にもお知らせするために「調布保谷線だより」を定期的に発行しております。

## 第1回 ブロック検討会を開催しました

### ■ブロック検討会の概要

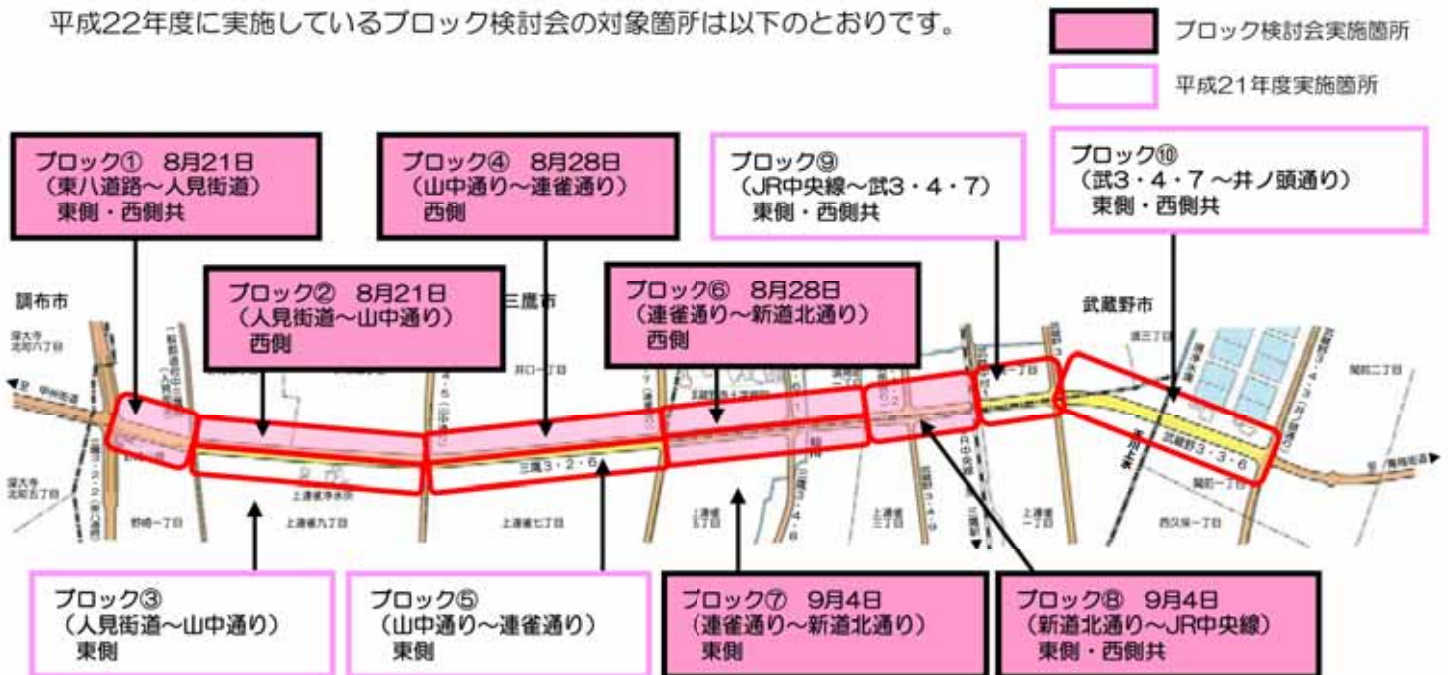
平成21年度のブロック検討会に引き続き、平成22年8月21日(土)及び28日(土)、9月4日(土)に平成22年度実施箇所である①、②、④、⑥、⑦、⑧の6ブロックにおいて、第1回ブロック検討会を開催しました。

この検討会では、沿道に土地を所有されている方やお住まいの方に東京都が作成いたしました計画図(案)をお示しし、土地の利用状況や利用計画を基に車の出入り(切下げ)の有無を伺った上で、環境施設帯の基本タイプのご紹介や整備に対するご希望などをお聞きしました。

また、環境施設帯の整備に関連し、沿道の方が日頃から疑問に感じているその他の内容について意見交換を行いました。

### ■ブロック検討会実施箇所

平成22年度に実施しているブロック検討会の対象箇所は以下のとおりです。



### 目次

- ブロック検討会の概要・・・1p
- ブロック検討会実施箇所・・・1p
- 環境施設帯タイプ・・・2p
- 環境施設帯タイプと切下げの関係・・・3p
- 環境施設帯タイプ選定結果・・・3p
- 参加者からの意見要望・・・3p
- 次回ブロック検討会の予定・・・3p
- 調布保谷線の整備効果・環境影響評価  
安全で安心して歩ける道を目指して・・・4p

## ■環境施設帯タイプ

環境施設帯の基本タイプは、「副道タイプ」と「緑地タイプ」の2種類あり、その断面構成は歩行者と自転車の分離や景観への配慮等により様々なバリエーションが考えられます。第1回ブロック検討会では、環境施設帯のタイプの例を検討の参考としてご紹介するとともに整備についてご希望を伺いました。植樹帯の割付など詳細につきましては、ブロック検討会でいただいたご意見を踏まえ地区検討会でも検討を行い決定いたします。

### 副道タイプ

環境施設帯 10m 車道

歩行者 2.0m 自転車 2.5m 副道 4.0m 植樹帯 1.5m

環境施設帯 10m 車道

歩行者 3.0m 自転車 2.0m 副道 4.0m 植樹帯 1.0m

環境施設帯 10m 車道

歩行者 2.0m 自転車 2.0m 副道 4.0m 植樹帯 1.5m

車の出入りが比較的多い住宅地などに適しています。  
 車庫入れや荷物の搬入搬出は後続車を気にせず容易に安心してできます。  
 歩行車道と自転車道を植樹帯や区画線などで分離することも可能です。

### 緑地タイプ

環境施設帯 10m 車道

歩行者 2.5m 自転車 2.0m 植樹帯 5.5m

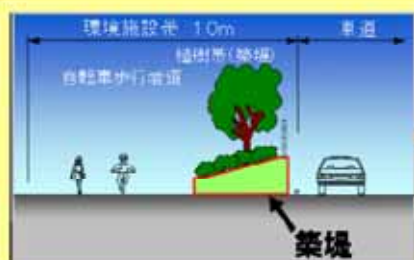
環境施設帯 10m 車道

歩行者 2.0m 自転車 2.0m 植樹帯 1.0m 植樹帯 5.0m

環境施設帯 10m 車道

歩行者 3.5m 自転車 2.0m 植樹帯 2.0m 植樹帯 2.5m

車の出入りが比較的小さい画地の区間や駐車場を完備した商業施設などに適しています。  
 切下げが多くなると緑地が少なくなります。  
 歩行車道と自転車道を植樹帯で分離することも可能です。



緑地タイプのバリエーションとして築堤タイプがあります。

ブロック⑤では、モデル事業として築堤タイプを整備する箇所があります。

築堤タイプの特徴

- 築堤部分が壁となり遮音効果も兼ねています。
- 築堤の存在による圧迫感や閉塞感について整備の際に配慮が必要です。

## ■環境施設帯タイプと切下げの関係

一定区間の環境施設帯において必要となる切下げの数や沿道の土地利用状況の違いが環境施設帯のタイプ決定に大きく影響するため環境施設帯のタイプと切下げの関係についてご説明いたしました。

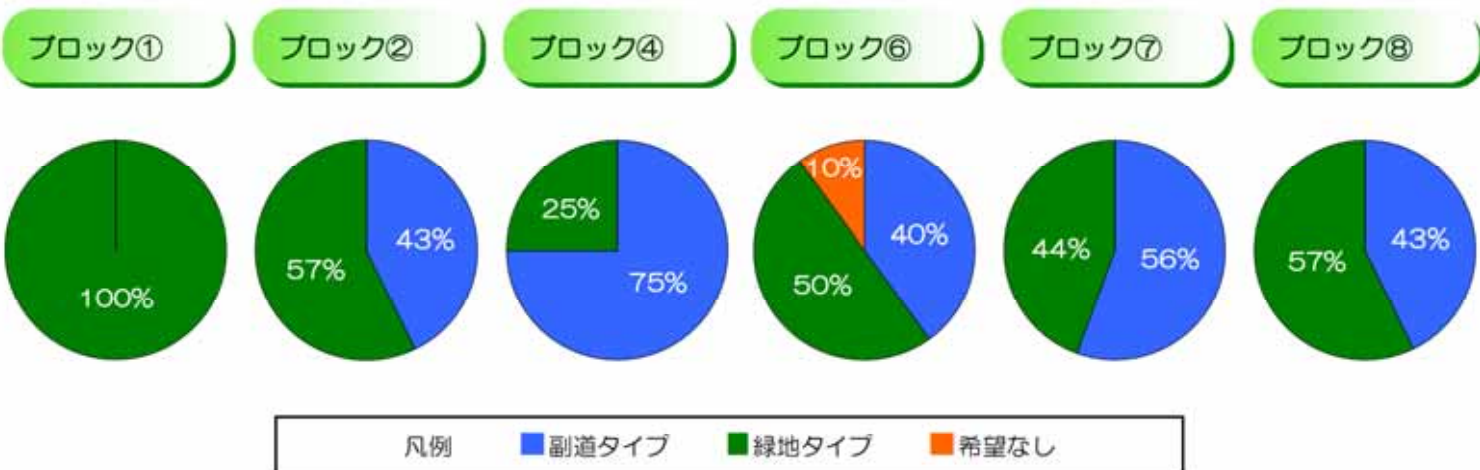
## ■環境施設帯タイプ選定結果

参加された皆さんに伺った環境施設帯の選定結果は以下のグラフのとおりです。

6ブロックのうち、ブロック①・ブロック②・ブロック⑥・ブロック⑦では、緑地タイプを希望される方が多かったのに対し、ブロック④・ブロック⑦では、副道タイプを希望される方が多い結果となりました。

この結果を計画図（案）と照らし合わせ、第2回ブロック検討会で引き続き詳細に検討して参ります。

※ブロック検討会では参加して頂いた方が少なかつたため、現在補足調査を行っています。



## ■参加者からの意見要望

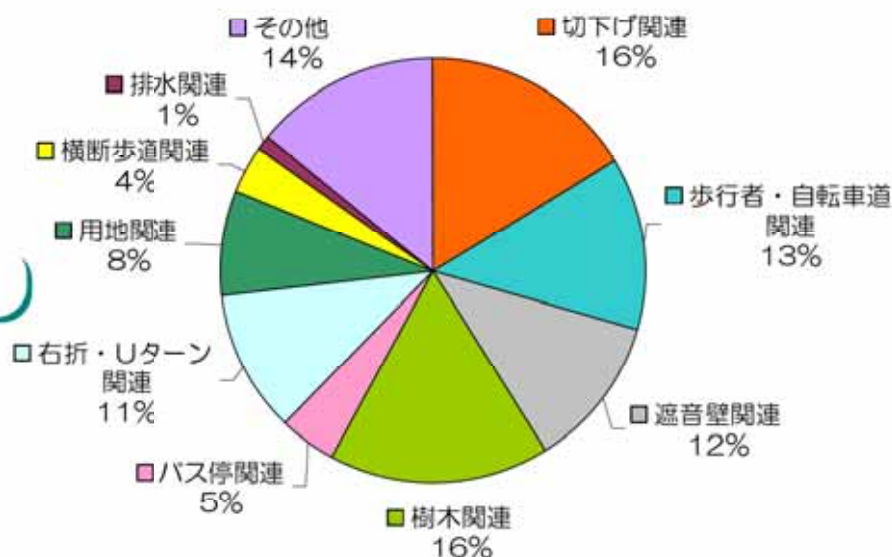
今回のブロック検討会で伺ったご意見ご要望は右のグラフのとおりです。切下げのほか、樹木や歩行者・自転車道、遮音壁に関する内容が多い結果となりました。

これらのご意見ご要望については、地区検討会でもご紹介するとともに引き続き詳細に検討して参ります。

## ■次回ブロック検討会の予定

第2回ブロック検討会では、第1回ブロック検討会のご意見ご要望の結果とそれに伴う計画図（案）の修正箇所等についてご説明するとともに切下げ位置や幅員、副道位置の詳細などについてさらに具体的に検討して参ります。

なお、第1回ブロック検討会では、沿道の皆様のご参加が少なく、満足できる合意形成に至っていない状況です。補足調査は行っていますが、今後の検討会にはご参加頂けますようお願いいたします。



対象となる①,②,④,⑥,⑦,⑧ブロックの方々へは、ブロック検討会開催のお知らせをお配りしております。途中からの出席も可能ですので第2回ブロック検討会へのご出席をお願いいたします。

次回（第2回）ブロック検討会は、9月18日（土）、9月25日（土）、10月2日（土）に実施します。

# 調布保谷線の整備効果・環境影響評価

調布保谷線については、平成12年に環境影響評価書を提出し事業を進めていますが、検討会などで完成後の整備効果や環境影響に関するお問合せが多いことから、改めて「調布保谷線だより」の中で順次項目別にご紹介しています。

## ■安全で安心して歩ける道を目指して

調布保谷線では、「環境設置帯」の整備により広くゆったりとし、誰もが利用しやすく緑あふれる歩道、街灯の整備や無電柱化も推進し、街並み景観に配慮した安全で安心して歩ける道づくりを目指します。  
本号では、環境施設帯を有した調布保谷線の整備効果についてご紹介します。

## ●環境施設帯を有した調布保谷線の整備効果

### バリアフリー化歩道

歩道と車道部の段差を小さくし、バリアフリー化された歩道となります。お年寄りや車椅子の方々も、安心して安全に歩行できます。

### 街路樹・植樹帯

調布保谷線沿いに、歩道と車道を分けて街路樹・植樹帯がつけられ、みどりに彩られた美しい街並みを形成します。

### 街灯の設置

地域の防犯に、街灯はなくてはならないものです。防犯と夜間の安全な歩行のために、街灯を数多く設置します。



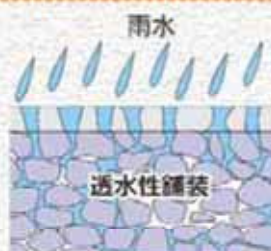
### 無電柱化

道路上から電柱や電線がなくなります。電気や電話等の電線は地中の共同溝に埋設され、歩道の障害物であった電柱がなくなり、街の景観もすっきりとします。



### 透水性舗装

透水性舗装は、路面の排水・透水性を向上させた舗装です。雨の日も水溜まりなどができづらく、歩きやすい歩道となります。



### 自転車歩行者道

歩行者の安全のために、歩行者と自転車が通行できる場所を区分します。

お問い合わせは

東京都北多摩南部建設事務所工事第一課  
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

電話 042-330-1861

ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kitanan/>

平成22年9月発行

**R100**  
志願バス・配車券100%再生紙を使用

平成22年度  
登録8号